

「二十一世紀に 生き生き生きる
経営基盤創り。」

ありがとう



●6月例会ご報告
●討議会の報告

2015.6
VOL.44

発行責任者/山田 淳二 西岡 伸悟

6月例会ご報告

2015年6月29日(月)

於：(株)日本創造教育研究所 広島営業所

女性力が会社を変える～ダイバーシティ経営で企業変革を

株式会社山豊 代表取締役 山本千曲 氏



広島経営研究会では今年度から女性の力を生かす経営を学びたいとの思いから、女性部会準備委員会を発足。川野女性部準備委員会委員長のもと女性会員が集まって企画した初めての例会に、株式会社山豊の山本千曲氏を報告者としてお迎えました。

(株)山豊は今年で創業54年目、広島菜漬の製・販売で数々の全国的な賞を受賞されている県内でも屈指の企業。「三代百年企業を目指す」との理念戦略を掲げ、山本氏のリーダーシップのもとに女性の積極的な採用、職域拡大、管理職への育成とダイバーシティ経営のモデル企業ともなっています。ダイバーシティ経営とは「人を大切にする経営。働く幸せ感を味わい、社員と経営者の利益創出の源泉になる経営」と山本氏は定義づけ、そしてその真髄は「大家族的経営である」と看過。多様な人が働きやすい環境を創るために、経営者がさまざまな仕掛けや支援をきめ細かく組織に取り入れていかなくてはいけないと述べられます。従業員の平均年齢50.8歳、女性が6割を占める山豊では山本氏が率先してさまざまな取り組みをされています。誕生日には社員に自らの手料理を振る舞い、また育児中の女性社員の子供たちを抱きしめその成長を見守る。常に社員を見つめ認める山本氏の温かいまなざしがあるか



らこそ、山豊のみなさまも自身の存在意義をこの会社でかみ締めて働いていらっしゃるのだろうと伝わってきます。

「中小企業とは限られた資源、人財をどう活かせるかにかかっています。必要に迫られたからダイバーシティ経営に取り組み始めたのです。中小企業が生き残るためには社員に成長してもらわなければならない。彼女たちを認めてあげることで働くポテンシャルがあがっていく。そのためには社長は常に学び続けなければいけないのですよ」山本氏の締めくくりの言葉が、私たちの心に深く響きました。

会員53名、オブザーバー18名の多数のご参加を頂き、来る少子高齢化による労働力減少という人口推移の課題について私たちは経営者としてどう取り組んでいくべきなのか。その一助を教えていただいた例会でした。

広島経営研究会 村井由香

討議会の報告 6月9日(火)



今回は会員23名オブザーバー9名の参加で行いました。どのテーブルも深い話と真剣なまなざしで、充実した時間を過ごしました。鍋島さんの社員さんも多数参加して頂き熱心に学ばれていました。アクティブさんも社員さん数名と参加され学ぶ意欲を感じました。

1時間30分が短く感じるほど、充実した時を過ごせます。まずは参加してください。きっと楽しい学びがあります。

討議会の日程：7月9日(木)19時より 理念副委員長 細土

